

★シンポジウム 通信員の組織

通信員の力を100%生かそう

★個人差がある通信員

田所（全国金属）全国金属が通信に力をいれた理由は、事実で勝負するというねらいです。全金は

職場の支部機関紙への通信活動も重視しています。組合員数が、千人～二千人となると、執行部も、うごきをつかみきれません。必ず支部機関紙をつくり、事実を中心にして地方から中央に集中させていきます。

本部への通信はさいきんふえ、大判二頁、週刊でものせられました。とくに春闘中の三月から四月に集中します。通信員は二百人以上となつて、通信数はふえました。が、まだ六〇割の通信員は一本も記事を書かず、アンバランスがあります。

通信数は「毎月最低一本は送つてくれ」と月五百本を目標にして義務づけられています。

小早川（全日自労）組合員は約十万人で機関紙『じかたび』のほかに『建設民間版』を有料で六千部発行しています。通信数は七月

は二百二十通送られてきましたから、年間二千六百通以上になります。写真は、月に四十通（七二年度）マンガはほとんど送られてきません。

通信員会議は今年で八年目になります。今年から代表者会議という形にして、参加者は今までの最高の七十人集まりました。当面は二十四時間の生活をえがくことを目標にしています。

通信員数は三百五十九人、一本も記事を書かない人は百八十六人で四十八割です。たとえ二ヵ月に一通でも通信をするように指導をしています。内容は、かつて失対一家といわれ、それに関する失対高令者に関する記事が多かったのですが、いまは多面的になつてきています。

記事の内容は「いつ、どこで、誰が」という簡単なデモや集会の記事が多くなっています。いま改善する方向としては報道記事の内容をもっと豊かにしていきたいと考えています。記事を書き始めたばかりの人は、自分の感想が多く、もっと失敗談、人問味のあ

ふれたものをほしいのですが、初心者と経験者のあいだに断層があります。そのために通信員会議を今年から代表者会議にしました。

中西（全商工）全商工は組合員は一人、タブ二頁を週刊で発行しています。通信員は八十人を突破し、いま組合員百人に一人の通信員を目ざし、通信数は年間三百通で、現在は二百八十通くらいになっています。

六七年に通信員制度が発足し、今年で六年になりますが、各職場に一人の通信員がいる計算です。制度としては一応ととのつてきたため、今年初めて通信員会議を開きました。今年の目標は通信員の登録で、職場で推してもらった人を、大会に名簿を提出して、そこで任命しようと考えています。通信員は大会特集号に名前を掲載し、「通信員証」を渡すようにしています。また支部、分会には、通信デスク（責任者）をおき、テーマをきめています。

優秀通信員は表彰し、原稿料を払うなどしています。なお通信員の八十%が書いてくれません。今

後通信員は気軽なもの、短かい通信をきちんとのせるというこの二つを制度的に確立していきます。

記事の内容では、行政改革にももう合理化、通産行政にたいする批判などをのせていきたいと考えています。職場の実態、組合員の感情に訴える。要求のある通信員をそだてていきます。

大沢（住友セメント労組）通信員は一時支部まかせになつていました。組合員は三千八百人で多い時は百八十人の通信員がいました。いまは書ける通信員を選び、八十五人いますが書く人は三十%です。通信員は、通信と投稿が区別できません。方針では二ヵ月に一度、支部教宣部長を招集して通信員会議をひらくことになっていますが、実際実行しているところはわずかです。

その原因は「通信員だより」を発行し通信員の任務と企画方針を徹底して送付することにして、いたもの、闘争中は本部の編集会議が開かれず実行できませんで

出席者

大 沢 明

（住友セメント労組教宣部）

木 村 純

（全国商工新聞）編集長

小 早 川 清 志

（全日自労教宣部）

田 所 貞 男

（全国金属教宣部長）

中 西 英 治

（全商工教宣部長）

牧 正 行

（民医連新聞）編集長

松 沢 常 夫

（全学連「祖学」編集部）

司会……編集部

記事の内容は、通信員一人ひとりに制度を生かすなかで徹底していききたい。通信活動の位置づけははっきりしているもののまだ人間を描くところまで、目標をもっていきません。

★キメテは通信員ニュース

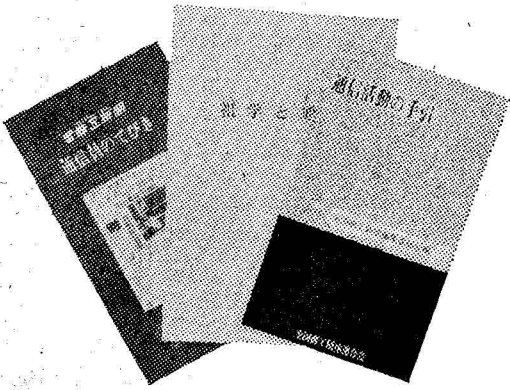
松沢 全学連の組織は連合体で約二百三十の自治会の組織加盟で三十五万人の学生が加盟しています。読者は五万三千の固定読者がいて、大判六頁、週刊で発行しています。

通信員はあまり厳格にしていま

で、活動者会議に登録用紙を渡して書きこんでもらっています。年間一千七百通の通信が集まりますが、六月は三百通をこえ、九月は五百通を越すと思われます。

通信と投稿は区別していませんが、事実が描かれているものを中心に掲載します。内容が面白いだったら不十分なものは念をおして電話や手紙で再確認しています。

今年の六月、通信員を募ったところ九十二人になりました。通信を送らない人はそれほどいませんが、第一回目の通信を書くまでがたいへんです。自分の所属している大学がどこなのか、を書いて



各組合、団体で発行している「手引」

てきますが、第一回目を送ってくれた人は励ましています。とにかく書いてもらうことで、編集部はそのための『通信員ニュース』を作りたいとおもっています。

牧 (民医連) 従業員は一万二千人います。『通信員ニュース』を発行していますが、年間四百五十通の通信が送られてきます。今まで最高に書いた人が年間六十八通です。通信員会議は昨年九月にも開き、内容はニュース記事の書き方など、実技、作り方などを中心に講習をやりました。

『通信員ニュース』は十号まで発行しました。編集部は三人で大判四頁を旬刊で発行していますがオーバーワーク気味です。『ニュース』は半年停滞したため「早く発行しろ」という声がありました。通信員制度は編集部の姿勢もありますが、機関でどう位置づけるかということにかかってくるのではないのでしょうか。

木村 (全商連) 通信員の任期は二年にしました。七二年六月から再登録運動をはじめ、七三年三月から通信員証を、各府県組織に送付しています。

『ニュース』は三年前から毎月発行しており「カラー写真は凸版がきたなくなるから送るな」とか毎月の取材の重点を明らかにして

います。昨年七、八月は一ヵ月百六十通の通信が送られ、今年の七月には二百七通と今までの最高を記録し、活動がようやく実りはじめています。

このほか「告知板」の欄などに送られるものが、週平均十本、手がかりになる材料は月三千件くらいはあるでしょう。しかし投稿は通信数に含んでいません。ともかく通信でトップをかざろうと考えていますが、四面はほとんど通信で占めています。今後ボツになった記事の対策も考えていかなければなりません。

★書いてくれない通信員

司会 一通り報告があったところで、今後どう通信活動をすすめていくか、通信数を増やすか、記事を書かない人たちにどうやって積極的に協力してもらえようにするか、という点で意見をだしていただきます。

小早川 代表者会議は開きましたが、県単位のプロックを単位にきめ細かく開かないと、地域的な片よりがでてきます。現在の通信数は投稿も含めたもので、今後別に計算していかなければなりません。

司会 東武交通のばあい、ボー

リング大会の記事がかなり多く、レジャーに記事が片よっているのを頭を痛めています。全銀連では、各地でボーリング大会をひらかせ、それを紙上で組織し、通信ボーリング大会をやった経験があります。これを参考にしたいです。

大沢 会社から金をださせてレクをやると、一斉に通信があがりますが、私は組合員を登場させるという観点では、ひとつの記事が集中してもいいとおもいます。

木村 全商連のばあい、代表理事会や常任理事会でくり返し機関紙の重要性を訴えています。良い活動は機関紙にのせよう、そうすれば、短時間に全国に普及できるわけです。各地でいい活動はしているのですが、会議は二ヵ月に一回ぐらいの開催です。そこで知ってからでは遅れてしまうのです。各県の中心メンバーが機関紙中心の活動をとり組むかどうかにかかっていますね。

会長が推薦する通信員以外は受けつけないようにしています。登録するために写真二枚を提出してもらっています。写真の活用方法は、今後「通信欄」を設けたとき写真入りで紹介することも考えているからです。「通信員証」は地方で活動している人にとって取材

年	月	消費量 (千キロワット時)
46 年	一月	37
	二月	52
	三月	61
	四月	65
	五月	63
	六月	52
	七月	64
	八月	70
	九月	79
	十月	98
	十一月	96
	十二月	36
47 年	一月	36
	二月	58
	三月	82
	四月	78
	五月	121
	六月	154
	七月	160
	八月	160
	九月	153
	十月	147
	十一月	123
	十二月	62
48 年	一月	76
	二月	113
	三月	148
	四月	117
	五月	170
	六月	125

田所 単組数は千三百もあるため、もっと頁数を増やさないといふ。今のままでは厳選主義になってしまっています。大会で表彰もします。そして賞金は一万円で旅費、宿泊費は本部もちということで七二年度は該当者は三人いました。内容

中西 人間を描くというのは大切なことでしょうが、むずかしいでしょうね。

小早川 典型ができれば、それ

信を書くための計画性のある指導が必要です。

田所 自覚した通信員はごくわずかですが、この人はつかまえて

たとかいは多いのですが、合理化の記事は少ないのです。春闘前は「生活はますます苦しくなってきた、だから大幅賃上げが必要」と

いい「仕事はどうですか」ときくと「ますますきつくなってきた、だから大幅上げが必要」とアンケートで答えてくるのです。まんざら結びつかなくはないが、「風が吹けば桶屋がもうかる」式で飛躍しすぎのところがあります。

高度経済成長をささえている根本的な元凶を明らかにしていかなければなりません。日常の職場では、職制のいやがらせや「たのむから残業してくれ」と無理矢理やらされたり、「午前中の仕事のノルマが終らない人は他の人が食べていてもメシは食わせぬ」ということがたくさんあるのです。

中西 このあいだの通信員会議では、広島通信員が講演を聞いていて、うなづきながら「書きたいのができた」帰るまでに六本書くことができたといつて、すでに三本送られてきました。

全体として仲間の心にふれるものが少ないですね。いろいろなでき事の記事は送られてきても、それがなぜ運動のなかで必要なかということがありません。文章の水準、資質をどう高めるかということが必要です。「人間を描く」ということは技術ではありません。

牧 通信のパターンをみると、「5W1Hと短かく書く」という

ことを徹底しすぎて、送られてくるものが味もそつ気もないような内容になってきています。さいきんは、5W1Hと短かく書くのをあまり強調しないようにしています。通信員は5W1Hで書かないと新聞では載らないと思っているのです。5W1Hにこだわらない

いろいろな記事が送られてきます。しかしそれは編集部で手おしすればいいのです。ともかく自由に書いてもらわないと会議の記事など画一化してしまいます。

★典型を紙面にだす
司会 山田清三郎氏が、四十年前に書いている文章があります。ここでも「事実を書き」といっています。事実を書くとき生きた書き方という矛盾はかなり前からあったのです。田所 通信員が編集部をのりこえた記事はありませんね。編集部がいいものを作れば、通信員は、「ああこういうものを書けばいいのか」とわかるのです。ただ一方的に「人間を描け」といってもだめです。

木村 通信員にとって私たちは作っている機関紙がカガミになります。ですから紙面にのった集会

や税務署との交渉のような記事は多くきます。また組合員の業者が新しく開発した機械や発明などの記事のせると、読者から問いあわせや引きあいが殺到し、そういう内容でよかつたらと、もつと身近かにいろいろなことがあると再び送られてきます。

小早川 書きなれた人には自分のいいことをより、仲間が知りたいことを書いてくれと頼むようにしています。しかし組合員の年齢が六十歳近いせいか記事の内容は社会性に乏しくなっています。

木村 交渉や税金の記事しか送られないというのは、民商運動の幅がせまいと考えると考えられます。税金以前にPCBによる魚介類の汚染など重要な問題が山積しています。役員会でも活動の重点を幅をひろげることにしたいと思っています。活動の幅がせまいと幅がせまい記事しか送られてきません。ですから幅のひろがりやが質の向上につながります。

司会 通信活動にまだ取り組んでいない組合や団体が多いのですが、通信が機関紙活動に不可欠かどうかという点で意見をだしたいだけかどうかと思います。

小早川 通信が増えればそれだけ仕事は増えますが、運動を組織していく、という立場からは不可

欠ですね。

中西 通信員が書いた記事と機関が送ってくるものとは、まちがいに一定の評価はあります。通信員が書いてくるものは運動にすぐ生かされなくても、自発的に書いてくれたものも、具体的指示で書いてくれたものも評判はいいです。通信員が全体として高まれば内容もよくなります。

木村 組織の強化は結局人間と人間との関係です。全商連のばあい、全体の足並みがそろうのは申告期です。これ以外のときは、それぞれが趣味で気があえば、たとえ民商の会議に出席しなくても、その人たちは集まっています。このような自発的な集まりは無数にあります。

送られてくる通信が、全国的な課題とちがうときもあります。毎回送られてくるものを素直に表現することです。文化など、人間の多面的な要求にこたえる紙面をつくることでしよう。

通信員がいなければ、たとえ五十人のスタッフがいっても（現在九人）いまの体制をカバーすることは不可能でしょう。

人間らしい生活、これにたちむかうものと対決する。それが問題意識を全体のものにして、みんなの民商運動が、みんなをつなげて

いく、これを保障するのが、通信員です。

司会 東武交通労組では「通信のない機関紙は、根のない木のよなものだ」といっています。やはり通信活動は機関紙活動に必要不可欠である、という結論がでたようです。今後このような研究会をひらきたいと思っています。本日はおいそがしいと思います。どうぞございました。

日本漫画家会議創立20周年記念出版

まんがカット集

労働漫画家22人による力作カット586点

A5判160頁 定価800円(〒85円)

編集 日本漫画家会議

発行 日本機関紙協会